

# ほのぼの

ネットワーク通信

No10

発行者  
第4期同期会会長 香月 英彦  
平成25年11月1日発行



画 東江 順子

早いもので、卒業して4年目。夢追塾のおかげで、時に少女少女に戻って爽やかさとはにかみ、ほのぼのとした気持ちが蘇ることもあります。今年もあと2か月。心身ともに喜びの心で新しい年を迎えたいものです。夢追塾とほのぼのNWの歩みを見つめながら、わが役割を顧みて「一歩前へ」の言葉を言い聞かせている昨今です。この紙面では毎号、4期生の活躍の模様を紹介しています。その活動の一つ一つは小さくとも、地域社会のなかで一定のお役にたっているものと確信しています。この新聞がその一助になれば幸いです。 高 和美



書 江崎 弘子

## Opinion

会長 香月 英彦

### 「諦めることをあきらめる」

この夏、福島南相馬の小学生たち11人が北九州市で夏休みの一時を過ごした。ほんの少しだったが玄海青年の家でバーベキューと蝉取りなどを一緒に過ごした。その子たちを新幹線で福島まで送る役目をいただいた。

役目を果たした翌朝レンタカーで南相馬を訪問。現地の方の案内で「津波で襲われた街・・・」さらに「原発事故で立ち入りができずだれも住んでいない高田地区・・・」「原発被害の20km圏内の浪江町の入り口・・・」まで短時間であったが見学させていただいた。

しかし、20km圏すれすれでの事業再開や「相馬の馬追い」も復活しているという。後日案内していただいた方から届いた便りに「諦めることをあきらめる」という言葉が印象的だった。

### 穴生学舎大学祭食の祭典「夢追亭」

10月19日(土)20日(日) at 穴生ドーム

実行委員長 新見 正康

4回目の今年はメニューを増やして、から揚げ・フライドポテト・フランクフルトのほかに、ノンアルコールビール・お茶・ジュースも販売しました。心配された天候もまずまずで、一時は行列ができたほど盛況でした。

詳しくは、同窓会ホームページ <http://yumedoso.jimdo.com/> の「同窓会だより」のページからダウンロードしてみてください。「ギャラリー」には写真もあります。

## Schedule

- 11月9日(土) 13時～ 夢追い夢語り
- 11月30日(土) 18時～ 同窓会懇親会
- 12月2日(月) 18時半～ ほのぼの&きずなセミナー
- 1月13日(祝) お元気です会 at 小森江
- 2月9日(日) 北九州市民マラソン(スタッフ)

## 第2回すてきな仲間たち

9月21日(土) at ウェルとばた多目的ホール

ほのぼのネットワーク主催事業として最大のイベントである「すてきな仲間たち」。2回目の今年は、ウェルとばたという大きな会場で多くの人を巻き込んで、大々的に行われました。1期から8期までの、多くの同窓会員の日頃の趣味・文化活動、地域貢献活動などが、紹介・発表されました。

4期生の皆さんには、準備段階から当日まで、中心的スタッフとして活躍していただいたおかげで、当日は混乱もなく大きな盛り上がりを見せ、成功裏に実施することができました。

実行委員長 香月 英彦

(詳しくは、同窓会HPの同窓会だより、ギャラリーをご覧ください)

4期スタッフ(敬称略)

江崎・恵藤・岡本・香月(英)・高・幸田・繁松・末松・寺岡・東江・中尾・新見・野口・原田・福内・福嶋・松井・三原・宮本・三好



## ペンリレー

### 「気働き」 佐田 智彦

先日、講師控室を出てエレベーターに乗ろうとした4階の出来事。1階に向かうエレベーターは学生で超満員だった。と、その瞬間、3名の学生が出てきて「先生乗ってください」と言う。

笑生はありがたうと述べ、小さな混室で、めったにない幸運に巡り合ったような気分が瞬時浸った。あれこれと、相手に対して気をつかう気遣い(ごく普通の気持ち)や、気配り(手ばかりがないように注意する)は、気を集中すれば育ってくる。

しかしその場に依じてよく気がつく気働き(機転を働かせる)は、素質のような気がする。石田光成の「三献茶」を思い出させるが、そのような「気働き」も、勘に通じるものだと思う。若い女性を相手に、授業を分かり易く教えるのも一苦労だが、半世紀の年齢ギャップを抱えた駄洒落(おやじギャグ)が通じにくいには閉口する。

しかし短期大学ゆえに、決して「短気」を起こさず、「ユーモアと笑い」のある楽しい授業が出来るように「気働き」に気をつけている。今回は繁松さんにリレーします。

## 高須かき氷 出店

＜地域行事に協賛＞

8月10日(土)夕方、若松区高須夏まつり「縁」のバザーに夢追塾のPRもかねて、かき氷を出店しました。地元の人を中心に櫓太鼓に合わせて盆踊り(わっしょい百万踊り 炭坑節 高須踊りなど)の輪が二重、三重にひろがりました。

詳しくは、同窓会ホームページ「会員のページ」に号外があります。

高須まちづくり  
香月英彦

笑顔のすてきなスタッフ→



## お元気です会・平成25年夏編

暑い夏の日、雨の「芦屋釜の里」はまるで別世界。

三好さんの幽玄な琴の調べのなかで、お手前をしてくださるのは、すてきな着物姿の高さんです。

まずは、お茶室への入り方や床の間拝見の仕方を教えていただいて、始まりました。

床の間には、高さんのお庭の伊勢花火、瑠璃柳、風船かずら、女郎花、ふ入りのカヤなどがさりげなく活けられています。

席に着いたら高さんのお嬢さんの手作りの和菓子「水牡丹」と四国の和三盆で作った干菓子をいただき、その後お抹茶をいただきました。そのお抹茶の美味しいこと美味しいこと!! みんなお代りまでいただきました。

三好さんが6歳の時から始められたお琴での演奏曲「茶音頭」、「みだれ」はすばらしく、「聞けてよかったー」と感激の声。

その後、野口さんのオカリナ演奏。楽しくてみんなが「思い出」や「さくらさくら」など歌いだしてしまいました。「琵琶湖周航の歌」「アメージング・グレース」もとってもよかったです。

参加された方の声「正式なお茶会に感激」「楽しかった」「お茶、最高」[至福の時間だった]「大人の会合だった」

レポーター:東江 順子

(詳しくは、同窓会 HP の号外をご覧ください。)



## 笑いは全人類の謎を解く合鍵です!

8月17日「第5回 笑っちゃらん会 in 北九州」を終えました。

夢追塾の皆様の御支援に厚く御礼申し上げます。

年一度のイベントの振り返り会を9月6日に行いましたが、回を重ねるごとに、多くの反省事項や課題も発生します。

でも、「乗り切ったから笑えるのではなく」、「笑った瞬間に乗り越えられる」という独特のユーモア、ギャグが飛び交う楽しい「笑会」です。

「面白い人生があるのではなく、どう面白く生きるのか」、その気になって「第6回・8月10日」は、新たな企画と演出で、会場の臨場感を満喫頂けるようにスタッフ一同成長していきます。

(詳しくは、同窓会 HP の同窓会だよりをご覧ください。)

笑顔は無限のメッセージを伝えます!

ユーモアコンサルタント・佐田智彦 記